

は じ め に

本市は歴史的に古く、数多くの文化遺産や豊かな自然環境に恵まれており、交通の利便性にも優れたまちであります。

このように良好な環境に恵まれた本市ではありますが、近年の都市化の進展や生活様式の変化に伴って、生活排水による河川の汚濁や近隣騒音、廃棄物の不適正処理、交通公害などの「都市・生活型公害」が増加してきました。また、世界的には酸性雨、オゾン層の破壊、熱帯雨林の減少、砂漠化の進行などといった問題があり、さらに最近では地球の温暖化が大きな関心を集めております。

このような状況を背景に、環境保全の基本法として、平成5年11月に「環境基本法」が制定され、また平成9年には京都議定書が採択されるなど、さまざまな環境を守る取り組みが行われています。

よりよい環境を創造していくためには、私たち一人ひとりが人間と環境のかかわりを理解し、環境に配慮した生活行動を実践することが必要です。

本市においては、近代都市にふさわしい創造的、個性的なふるさとづくりを進め、「健やかで安心して豊かに暮らせる街・橿原」を市民一人ひとりが実感し、実践できる街づくりをめざして環境保全に努めてまいる所存ですので、なにとぞ皆様のご指導、ご協力の程をよろしくお願いいたします。本書は、平成21年度の環境に関する測定結果（大気は平成20年度）を中心に現況をまとめたものであります。本市の環境の現状をご理解いただき、より快適な環境作りの参考となれば幸いに存じます。

平成22年9月

橿原市長 森 下 豊

目 次

第1章 橿原市の概要

1. 市の概況	1
2. 環境行政の概要	5
(1) 環境行政の歩み	5
(2) 環境行政の体制	6

第2章 水質汚濁

1. 水質汚濁に係る環境基準	9
(1) 河川における環境基準	9
(2) 本市における環境基準水域類型指定状況	11
2. 水質汚濁の現況	12
(1) 測定場所	12
(2) 河川の概要	16
3. 生活排水対策	20
(1) 生活排水の排出状況	22
(2) 生活排水の処理フロー	23
(3) し尿収集量及び浄化槽汚泥量の動向	23
(4) 下水道の普及率	24
(5) 合併処理浄化槽設置整備事業	24

第3章 騒音・振動

1. 環境騒音	37
(1) 騒音に係る環境基準	38
(2) 自動車騒音に係る要請限度	39
(3) 一般環境騒音測定結果	40
(4) 自動車騒音測定結果	42
2. 騒音・振動に係る各種基準	45
(1) 特定工場等規制基準	45
(2) 特定建設作業に係る規制基準	47
(3) 奈良県生活環境保全条例によるその他の騒音の規制	48
3. 騒音規制法並びに振動規制法に基づく届出受理状況	49

第4章 大気汚染・悪臭

第1節 大気汚染	51
1. 大気汚染に係る環境保全目標	51
2. 大気汚染監視体制	53
(1) 大気汚染常時監視結果	53
(2) 有害大気汚染物質モニタリング調査	55
(3) 有害大気汚染物質（優先取組物質）の測定結果	55
3. 光化学スモッグ対策	56
第2節 悪臭	57

第5章 公害の苦情

1. 公害苦情の受理件数	61
2. 公害の種類別苦情件数	62
3. 月別苦情受付件数	63
4. 発生源別苦情件数	64
5. 地域別苦情発生件数	65
6. 被害の種類別苦情件数	66
7. 公害苦情の処理状況	67

第6章 ごみ処理事業

1. 沿革	69
2. ごみ処理の概要	70
(1) 処理する一般廃棄物（ごみ）の種類	70
(2) 計画処理区域	70
(3) ごみ処理体制	70
3. ごみ処理量の推移	72
4. 再資源集団回収報奨金制度	72
5. 家庭用生ごみ処理機購入補助事業	73

第7章 地球温暖化対策

1. 地球温暖化問題をめぐる動き	75
2. 市の事務事業活動に伴う温室効果ガス排出量の現況	75
3. 地球温暖化対策推進実行計画	76
(1) 計画の期間・基準年度・目標年度、対象	76
(2) 温室効果ガスの対象範囲	76
(3) 削減目標	76

公害用語の解説	77
---------	----